

教室の窓から

令和 5年
(2023年) 8月
来須 真紀

さあ夏休み

さあ、待ち待った夏休みです。当然ながら、子どもは楽しみにしています。そして教員も…。ちょっとだけ楽しみにしています。なぜちょっとだけなのかと言いますと。この夏休み、先生たち結構忙しいのです。忙しい割には、子どもたちがいない。子どもたちの存在の大きさや大切さを思い知らされる日々なのです。

夏休みあれこれ夏休み準備

夏休みの準備といえば、まずは夏休みの宿題の選定。から始まるといってもいいです。教材費で買うものに関しては、教材採択の妥当性(内容・ねだん・他社との比較)などを話し合い決定する会議なども開かれます。それに加えて、ドリルやプリントの準備、絵画や書道、工作、作文のコンクールの要綱をまとめ、家庭科や音楽などの専科教科の宿題の調整をし、「夏休みの宿題一覧」を作る。作ったものを配りやすい状態にして保管する。。。最近では、タブレットを使った宿題もあるのでその段取りもする。ここまでも結構な作業です。最近では、夏休みの宿題を出さない学校も増えていると聞いていますが、これは賛否があります。子どもは大喜びですが保護者からは「宿題がなかったら遊びほうけてばかりいる。」という声が聞こえてきそうです。

夏休みあれこれ夏休み期間

私は子供だった頃は、夏休みといえば 7月20日ころから8月31日までと大体決まっていたような気がします。しかし、最近では、7月25日ころから8月25日くらいまでと期間が短くなってきています。(一部地域では以前からこれくらいだったという話も聞きますが)しかも8月の終わりから給食も提供できるようになったという話もききます。広島市の一部の学校は、G7サミットの関係で5月に臨時休校があったため、前年度よりもっと夏休みが短くなったという話も聞きます。子どもたちにとっては迷惑な話、保護者にとってはちょっぴりうれしい話になるのでしょうか？

夏休みあれこれ研修の嵐

さて、本格的に夏休みに入ると「先生は、夏休み何やってるの？子どもいないから暇でいいね。」なんてこと聞かれます。その質問が来ると「まあ、日常と比べたら少々ゆったりはしておりますが、決して暇ではないんだようなあ。」と思っていました。では、先生は、夏休み何をしていますでしょうか？まず夏休みになると研修が毎日のように入ります。法廷研修(法律で決められた研修○年次研修など)、校内研修(校内で企画運営される研修)、教育委員会や教育センターなどの公的機関の研修、などなど、自主的な研修(これは休暇を利用して参加します)特に校内研修については、こんなこと学校の先生がやるの？みたいな研修もあります。例えば。。

不審者対応研修…警察官などを講師に呼び、講話を聴いたり警察官を不審者役にしてシュミレーションしたり、さすまたの使い方なんかもちよっぴりします。

エピペン研修…アレルギーについて講話を聴き、エピペンの使い方を練習用のエピペンを使って研修します。

危機管理対応研修…校内でけが人や急病人が出たときのシュミレーション研修。救急車の入り口や救急救命、応急処置について実習したりします。

ICT研修…ICTの使い方について研修します。

授業研修…授業づくりや教材についての研修をします。

心の健康研修…SCなどが教員の心の健康を保つためにどうしたらよいかなどの研修をします。

教科研究会…自分の選んだ教科に分かれ、特定の教科について研修を深めていきます。市内の学校の先生方が集まります。

接遇研修…電話の取り方、接客の仕方など研修をします。

服務研修…不祥事や事故の未然防止のため、事例検討や自己の振り返りなどする。

などなど。。。

地域や学校によっても違いはありますが、私が在籍していた学校はざっとこんな研修がありました。もう正直、何でも屋さんです。研修自体はすべて必要なことですし、いろいろなことが学べるのでうれしいことも多いのですが、欲を言えばもっと子どもの理解とか授業づくりの研修が増えたらいいなと思っていましたし、児童相談所や児童福祉の分野の方(ケース演習みたいな)と研修ができたらいいなと思っていました。

夏休みあれこれ掃除掃除掃除

研修の他、夏休みにやることといえば、校内整備。これがなかなか体力勝負。教室のワックスがけ。エアコンのフィルター掃除。教材室の整理。粗大ゴミ出し。備品点検などなど。人数や力が必要な作業は、長期休みに職員作業として入ることが

多くあります。私は、これでポリッシャーの使い方を学びました。(なかなか上手に扱えるようになりました)

夏休みあれこれ生徒指導

学校によっては、地域に見回りに出る学校もあります。大型のショッピングセンターや公園。スーパーマーケットやお祭り。大体の目的は未然防止なのですが、見回り中に子どもに遭遇すると。。。んー。そのまま生徒指導ということもあります。

また、地域から学校に連絡が入ることもあります。「公園で〇〇してます」「車があるところで遊んでいて危ない」という内容から「警察です。。。。。。」とかまで。その度に教員は出動→指導→保護者連絡というパターンを繰り返します。

コロナ禍の夏休み、どこのプールもしていない時期に「公園の噴水で水遊びしているぞ!やめさせろ!」(なんじゃそりゃ?)というお電話をいただいて、やめさせに行ったことも…。実は、夏休みも気が抜けないのは生徒指導なのです。ちなみにお電話いただいて出動したら自分の学校の子どもではなく他校学区から遠征してきているという場合もあります。

夏休みあれこれ宿題〇つけ

さてさて、そんなこんなで夏休みが終わり、学校に子どもたちが戻ってくると、学校は一気ににぎわいます。その後、夏休み明けの一山が待っています。それが、宿題の〇つけと整理です。保護者にある程度の〇つけはお任せしていますが、〇つけや直しができているか1ページ1ページ見て、日記を読み、コンクールに応募する作品を精査し、応募票を作り、応募先へ持っていきます。これが8月中の勝負で、担任はだいたい子どもが下校した後は、これらのことに集中します。

そして、宿題をやってきていない子どもには、最後までやり切れるように寄り添います。少しずつ休憩時間などを使って進めていきます。

夏休みあれこれまとめ

ざっと、先生たちの夏休みについて書きました。書いたものはごくごく一部ですし、学校や校種、地域によっても違うとは思いますが、長期休みは、授業日よりゆったりできますし、休暇も取りやすいのも確かなのですが、なかなか忙しく、忙しくしている割には子どもがいない学校というものはなんとなく物足りなくて、さみしいなというのが、私が思っていたことです。帰宅途中に公園で遊ぶ子どもたちに出会ったりしたら、妙にうれしくなったことを思い出します。ホッとする時間も大切ですが、やはり、学校は子どもあつての学校!だと思います。